

第2回 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会（平成27年2月6日開催） 委員の意見と推進計画への対応

番号	項目		委員発言	対応する委員、事務局、オブザーバ等の発言	推進計画への反映
①	計画	計画期間	河川整備計画の計画期間は20年から30年であるが、総合治水推進計画の期間は2014（平成26）年度から概ね10年とされており、総合治水推進計画の期間中に河川整備が終了するというイメージを持たれないか憂慮する。	原案に河川整備計画の期間等を明記するよう調整する。 原案P4-1には、各河川整備計画に位置付けられた整備内容のうち、「本計画期間内に実施可能な整備を着実に実施する」旨を記載しており、全ての整備内容を10年で行うものではないことはここから読み取ることには可能である。	河川整備計画の工事箇所を示す表（原案P4-2～4-3）の下に、それぞれの計画期間を明記する。
②	流域対策	施設数の一覧表	原案5章の「学校・公園、その他大規模公共施設」の箇所数一覧表の数値が現状と整合していないものと思われる。	再確認し、正確な数字を入れ直す。 内訳を調べて誤りの無いようにして頂きたい。	平成25年度末時点のデータを確認し修正する。
③	先導的取組	校園庭の芝生化	「校園庭の芝生化」とは、もともとどのような状況の校園庭を芝生化することにより、どのような効果が期待できるのか。	土の校園庭を芝生化することで、雨水の浸透や芝による吸い込みによる、幾らかの流出抑制効果があるということから記載している。 第一番の目的は、子どもの遊び場の改良であると思われるが、流出抑制となるかどうかはわかりにくいところがある。 芝生化すると、草の部分3cm、根の部分3cmの空間に水を貯めこむということ、幾らか水を抱えることができるのではないと思われるが実証値はない。	—
④	先導的取組	香住谷川の開発指導の紹介	—	モデル地区となっている香住谷川では、支川森谷川流域において500m ² 以上の開発行為を行う場合には調整池の設置を義務付けており、既に4、5件の実績がある。	—
⑤	先導的取組	豊岡市街地区の雨水貯留	モデル地区の考え方や具体的な数字が出てきて計画を引き締めたという意味ではとてもよかった。市としても、費用負担の相談等もしなければならぬが、ぜひ一緒にやらせて頂きたい。	大変心強いご支援を頂いた。新しい試みとして関心を引くと思われるので、ぜひ協調して進めて頂きたい。	—
⑥	先導的取組	マップのポイント先	岸田川の先導的取組マップの指している位置について、ある程度正確な位置へのプロットをお願いしたい。 立ノ原ポンプ場の位置も正確ではない。	もう一度確認して正しい位置に落とすようにする。	正しい位置に修正する。

第2回 但馬（円山川等）地域総合治水推進協議会（平成27年2月6日開催） 委員の意見と推進計画への対応

番号	項目		委員発言	対応する委員、事務局、オブザーバ等の発言	推進計画への反映
⑦	先導的 取組	計画期間	先導的取組には、もう出来上がっているものもあると思うが、概ね10年くらいでこれらをきちっとやっていきたいということか。あるいはそれをさらに広げてみる、ここに書いてあることは10年くらいで達成しようということか。	モデル地区については普及・啓発にも活用したいので、早期に整備していきたい。先導的な取組のうち、既に実施しているものは地域全体へ周知を図り、取組を拡大するきっかけにできたら、と考えている。推進計画策定以降もフォローアップの中で、先導的な取組が増えたり、モデル地区が増えたりすることも考えられる。	—
⑧	流域対策	森林の保全	森林整備及び保全について、鹿害による山の荒廃が増加し、大きな問題となっている。総合治水に入るかどうかはわからないが、但馬らしい総合治水となると、獣害対策も盛り込んでおく方がいいのではないか。このままでは、植生もなくなり土砂流出が激しくなる。	農林関係部局と表現方法について検討したい。	原案P5-21に、獣害による森林の荒廃対策について追記する。